

令和5年8月1日

ひので
議会だより

みらい



No. 207

令和5年
第2回定例会

Contents

定例会 PICK UP	……	P 2
議案と結果	……	P 2
一般質問 町政を問う	……	P 3
議会日誌	……	P10

暑中お見舞申し上げます。
任期中は、大変お世話になりました。



日の出町議会議員選挙

投票日 **8月20日(日)**
 投票時間 午前7時～午後8時
 期日前投票 8月16日(水)～19日(土)
 投票時間：午前8時30分～午後8時



議案第33号 令和5年度 日の出町一般会計補正予算(第2号)

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
補正額 1億860万円

- ・自立支援給付費経費、介護保健特別対策事業経費、保育所運営事務経費、保健衛生一般経費、学校給食事業経費へ充当
物価高騰対策として、各施設へ補助を行います。
- ・価格高騰支援給付事業経費へ充当
支給額：3万円
支給対象：令和4年度住民税非課税世帯
令和4年1月以降家計急変世帯



令和5年第2回定例会

Pickup!



日の出町
「ひのでちゃん」

議案第35号

日の出町民グランド設備改修工事請負契約の締結について

夜間照明及び防球ネットの設備類の改修を行います。
工事着手は、8月頃を予定しており、改修中も一部使用可能となります。

議案と結果

令和5年第2回日の出町議会定例会

＜町長提出議案＞

○…賛成 ×…反対

番号	議案名	自	公	立	共	明	レ	環	結果
27	専決処分の承認を求めることについて（日の出町町税賦課徴収条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	承認
28	専決処分の承認を求めることについて（日の出町都市計画税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	承認
29	専決処分の承認を求めることについて（日の出町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	承認
30	日の出町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	同意
31	日の出町監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	同意
32	日の出町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	同意
33	令和5年度 日の出町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
34	令和5年度 町立大久野中学校屋内運動場・特別教室及び特別教室棟屋根改修工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	可決
35	日の出町民グランド設備改修工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	可決
36	議場音響システム等購入契約の締結について	—	—	—	—	—	—	—	撤回

<議員提出議案>

○…賛成 ×…反対

番号	議案名	自	公	立	共	明	レ	環	結果
3	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書	×	×	○	○	○	○	○	否決

<陳情>

番号	陳情名	陳情者	結果
5 陳情第5号	ふるさと納税制度を利用してスギ花粉を減らす取り組みを求める陳情書	佐久間 昌己	不採択

令和5年第1回日の出町議会臨時会

<町長提出議案>

○…賛成 ×…反対

番号	議案名	自	公	立	共	明	レ	環	結果
37	議場音響システム等購入契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	可決

<各会派の名称と所属議員>

会派名	略号	所属議員 (★印…会派代表者)	
自民蒼政クラブ	自	★東 亨・小玉 正義・濱中 映慈・平野 隆史・川脇 敏徳・木住野 智行・濱中 直樹	7人
公明党	公	★嘉倉 治・縄井 貴代子	2人
立憲民主党	立	★青鹿 和男	1人
日本共産党	共	★折田 眞知子	1人
明政会	明	★清水 浩	1人
レモンの会	レ	★大澤 弘子	1人
環境といのち	環	★中西 千恵	1人



縄井 貴代子

「日の出町子ども家庭センター(仮称)」設置にあたり、安全で安心な子育て環境の整備を

Q 伴走型支援には、人材の育成や確保のための体制整備が必要と考えるが見解は。

A (課長) 東京都が実施する「とうきょう子育て応援パートナー事業」の研修に参加し、職員のスキルアップに努めている。

Q 家事から子どもの世話、母親の情緒面を含め、産後の母親に寄り添ったサービスを提供する(注)産後ドゥーラは、町でも取り組むべき有意義な支援と考えるが見解は。

A (注) 母親になる産前産後の女性が健康な心身で過ごせるよう寄り添い、優しさや愛情をたくさん注いでくれる存在。

A (課長) 町の養育支援訪問事業も、産後ドゥーラと同様に、母親に寄り添ったサポートを行っている。需要を見極め、母親が安心して過ごせる有意義な支援として産後

Q ドゥーラの検討をしていく必要があると考えている。おなかをすかせた子どもへの食事提供から、孤食の解消や滋味豊かな食材による食育、地域交流の場づくりとなる「子ども食堂」を進めるべきと考えるが見解は。

A (課長) 需要を見極め、都の事業活用も視野に入れ、民間団体等が提供する子ども食堂の支援を検討する必要がある。

Q 若者が夢と希望をもって生きられるように、奨学金の代理返還制度を導入しては。

A (課長) 学生と企業と地域社会の活性化を図ることは大変に重要である。他の形で補助金事業を展開している。





嘉倉 治

健康増進策の充実で健康長寿社会へ

都は本年度より带状疱疹ワ

Q クチン助成2分の1を50歳

以上の方限定で実施してい

る。50歳以上の方が3分の

1の確率で罹患すると言わ

れている。町でも助成を行

うべきでは。

町の財政事情を見極めなが

A ら事業実施について判断して

(課長)

いく。

Q 東京都下で補助事業を活用

する動きがある中で行政の

トップである町長がどのよ

うな方針を持っているのか。

保健衛生全般の事業の見

A 直しを行っているところで、

財源の検討と事業の実効性

を確認しながら進めていき

たい。

Q 日本人の死亡原因の4位が

脳疾患といわれている。町

で脳ドック検診への一定の

助成を行うべきでは。

所用財源の確保等の問題で

A 困難である。

(課長) 70歳以上の人間ドック受診



Q 助成に60歳、65歳も新たに

追加してはどうか。

A 現制度の満70歳、75歳の人

間ドック助成事業は福祉単

独施策の見直しにより令和

6年3月末で廃止されるこ

とから、助成金額と自己負

担額のあり方、受診年齢に

ついて検討したい。

安全安心のまちづくりの強化を

Q 昨今の犯罪状況に鑑み適切

な箇所に防犯カメラ設置し

ては。

A 新設の際は、警察署と調整、

相談していく。

(課長)



川脇 敏徳

教育関係全般について

Q 幼保小の連携は。

A 保育士等への授業公開や意

見交換を実施。

園児の校内見学や給食の試食や

一年生と交流

Q 幼児期の教育の意義は。

A 生涯の人格形成の基礎を培

う重要な教育と認識してい

る。

Q 小中の連携は。

A 中学校入学前に授業や部活

動体験。学習・生活指導の

取組について情報共有の場

を設定など。

Q 個々の資質・能力を育成す

る取組概要は。

A 主体的・対話的で深い学び

を重視。自ら考え、グルー

プ学習で、意見交換をする

等授業の構造転換を図って

いる。

Q 大学や企業と連携した協働

の教育展開は。

A スポーツ・文化振興の取組

や最先端技術の学習、東京

大学大学院との連携による

認知症に関する学習プログ
ラムの導入など。

高齢化社会における生活環境の

整備について

Q 民法改正による越境枝除去

の対応方針は。

A 従来通り口頭や通知による

切除等を依頼する。今後は

国、都等の状況を調査・研

究していきたい。

Q 高齢化社会に対応した町づ

くりの見解は。

A 都市計画マスタープランの

改定では、現計画の狭隘道

路、乱開発、高齢化社会に

対応すべく方針を踏襲し、

安心して快適に暮らせる町

づくりを目指す。

農地について

Q 農業振興について。

A 農産物の地産地消費農地の利

用集積、先端技術を駆使し

た「スマート農業」等を活

用し、農作業の省力化を進

めることができれば、所得

の向上や新規就農者の確保

につながることを考える。





木住野 智行

今年度の主要な道路関連工事や委託について伺う

Q 補助道第5号線、補助道第6号線、補助道第15号線、日の出団地42号線、それぞれの工事の進捗状況について。

A (課長) 補助道第5号線については、4月18日に請負契約を受注者と締結し、今月からの工事着手を予定。補助道第6号線については、5月18日の入札が不調となり、現在2回目の入札事務を進めている。補助道第15号線及び日の出団地42号線については、今月中旬以降、工事の入札を行う予定。

運行から約1年が経過したコミュニティバス「ぐるり〜んひのでちゃん」について

Q 運行実績（収支、利用実績等）について。

A (町長) 9か月間の利用者数は9,355人。収入は、運賃金等、車内広告料合計98万3,600円。支出は、運転士

等 person 費や燃料費、修繕費や諸税等で、コミュニティバス運行補助金として、令和4年度は1,423万4,763円。

Q 運行から見えてきた諸課題と改善策について。

A (課長) 課題としては、利用者の増加を見込みたい。状況を検証し、利用者数の増加や定着をさせるためのPRを行う。利便性が高まるよう武蔵引田駅ロータリーへのコミュニティバス乗り入れを検討していきたいと考える。



ぐるり〜んひのでちゃん



濱中 直樹

定員管理について伺う

Q 採用結果は定員採用計画どおりか。

A (課長) 定員管理計画を超える採用を考えて結果的に定員管理計画人数になった。

Q 令和3年度の翌年度新規採用者数は14名、令和2年度の翌年度新規採用者数は7名の計画だったが、実績は。

A (課長) 令和2年度、3年度は計画人数まで採用していない。採用者数の決定は退職者を補充する形で決めている。

Q 日の出町は人気のある就職先と課長は考えるか。

A (課長) 特に地方公共団体の中で人気があるとは考えていない。町では働く場としての魅力をアピールしていく考えはあるか。

Q 日の出町を選択し、優秀な方に来て欲しいという想いでアピールしたい。ウェブでのエントリーを検討されているか。

A (課長) 応募の本気度を測るために持参とし、持参時から選抜が始まっていると考えているため、ウェブでの申込は考えていない。

Q 職員数が少ない年齢層を中心に採用活動は行わないのか。

A (課長) 少ない年齢層を積極的に中途対応する考えはない。

Q 地方自治体全体でも、昇任試験受験希望者減少が危惧されているが、どのように管理職への昇任をアピールされるか。

A (課長) 現在課長職が足りないという心配はしていない。現状は係長職が不足しているが、係長職を増やせばその中から管理職が増えていくと考える。





平野 隆史

町内の太陽光発電施設及び残土について

Q 太陽光発電施設の現在の状況について。

A 町内に発電施設が14あり、メガソーラーと呼ばれる千kw規模の施設は、2施設ある。その内の1施設は、発電施設の工事は完了しているが、都の工事検査は未実施と聞いている。

Q 令和4年12月定例会で、水路工事については、本年4月頃の着工予定との回答があったとのことだが、その後の進捗は。

A 工事が着工されている様子はない状況で、施工者に工事の進捗状況の報告をするよう2度通知し、本年5月に「工事調査をし、二次災害の恐れがあるため困難であり、現在業者を探している状態である」と回答があった。町は、早期の工事が行われるよう要請している。

町職員の働き方改革について

Q 精神的な病気での休職している職員へのケアについて。

A 主治医の診断に加え、産業医と面談を行い、復職可能か療養が必要か慎重に判断している。長期休暇者の負担軽減、円滑な職場復帰を支援するため、勤務を軽減する等の措置をとっている。

Q 職員の有給休暇の取得率について。

A 令和4年度実績で、1人当たり平均11日。

Q 男性の育休取得のための環境作りについて。

A 限られた人数の中で、育休取得者のカバーをすることは難しいが、会計年度職員等を活用し、取得しやすい環境作りを整えていきたい。



東 亨

日の出町のスポーツ振興について

Q 今後スポーツ振興にどう取り組むのか。

A 第5次日の出町長期総合計画でも重要な施策に掲げ、教育目標、推進計画に基づいて進めている。実効性のあるものを検討していきたい。

Q 町内各スポーツ団体からの要望について。

A 関係機関との調整、改善方法の検討に努めている。

Q 町民グラウンド改修工事期間中の対応策は。

A 谷戸沢グラウンドや小中学校の校庭などへの振替が可能か検討している。

Q 亜細亜大学日の出キャンパス、施設の利用状況は。

A トレーニングセンターは5年5月11日時点での登録者は90名。第3期工事分の施設の一般貸出が6月から開始された。

Q 施設予約システムの改善は。システム改修や規定類の見

A 直しを行い、改善の検討をしたい。

Q 防犯カメラの設置について。現在の設置状況について。

A 合計23台を設置している。

Q 防犯カメラの設置効果と有用性について。

A 警察署から、事件事故の捜査のために、情報提供の協力依頼が寄せられている。防犯カメラを設置する場合の基準・目的・管理について。

A 犯罪抑止に効果的な設置場所やカメラの角度を、警察と協議し設置している。



改修予定の町民グラウンド



はまなか
てるよし
濱中 映慈

日の出町一般廃棄物処理基本計画について問う

Q 日の出町長期総合計画に令和7年度のごみ収集量の目標値があるが、ごみ排出削減の取組はどのように推移しているか。

A (町長) 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき策定し、国の指針では計画の見直しをおおむね5年ごとに行う。現在の計画の見直しは、令和4年度に行い、新型コロナウイルス感染症に伴う新生活様式によって、ごみ排出量の変化等を考慮し改定した。

A (課長) 令和4年度は、ごみ戸別収集有料化開始時より減少傾向にあるが、更なる減量が図られるよう広報やホームページ等で啓発する。また、自治会等の資源回収促進に努める。

Q 令和元年に食品ロス削減推進法が施行されているが、町の取り組みは。

A (課長) 生ごみ堆肥化として、生ごみ処理容器購入補助・電気式生ごみ処理機購入補助、段ボールコンポストの譲与を行い、食べ残しゼロ運動を広報等で紹介している。

Q 給食センターでの食べ残しの取り組みは。

A (所長) 残さいが多かった献立の細かい見直し工夫や改善を行っている。また、成長期に必要な栄養素の話等の食育授業を行い、各校の給食担当と情報共有をしている。調理中の食材の残さ・廃棄となったものの処理は、食品関連事業者の廃棄物は基本、自己処理なので、生ごみ処理機で処理している。



しみず
ひろし
清水 浩

日の出町DX推進方針について問う

Q 現状の課題と解決策について。

A (町長) 令和5年2月に「日の出町DX推進方針」を策定、本方針は、各種デジタル技術を活用し、町の行政サービスの高度化、行政手続等の簡素化・効率化を図ることを目的とし、5年度から9年度までの5年間に係る方針となっている。

A (課長) 我が国では、人口減少が進み、労働力不足が予測されている中、行政サービスを維持、住民の利便性を向上させ、業務の効率化を図っていく事が課題となっている。多様化する行政に対応するニーズに添えていくために、各種デジタル技術を活用した業務改革を図っていく必要がある。

Q オンライン申請の進め方について。

A (課長) 町に対する手続きをオンライン上で行えるように令和5年度に実施方法・オンライン化手続の検討、6年度にスモールスタート・オンライン化手続の検討、7年度にオンライン手続業務の追加予定。比較的オンライン化しやすいイベントへの参加申込みなど本人確認の必要がない手続から実施していき、準備が整った手続から順次増やしていく予定。

日の出町DX重点16項目一覧

項目	年度(取組回数)					
	R5(16回)	R6(16回)	R7(12回)	R8(7回)	R9(6回)	
① ペーパーレス化	検討	開始				
② 電子決裁(文書)	検討	スモールスタート	開始			
③ データ管理	ルールの検討	開始				
④ 情報セキュリティ	随時対応	随時対応	随時対応	随時対応	随時対応	
⑤ オンライン会議	調査	対応方針検討	開始			
⑥ テレワーク	事例研究	制度・環境構築	開始			
⑦ 防災DX	検討	検討	随時導入	随時導入	随時導入	
⑧ 人材育成	計画策定	実施	実施	実施	実施	
⑨ コミュニケーションツール	チャットツール研究 スモールスタート	チャットツール導入	オンライン会議 ツール研究	オンライン会議 ツール導入		
⑩ RPA	事例研究	事例研究	事例研究	導入検討	構築	
⑪ デジタルデバйд対策	推進	推進	推進	推進	推進	
⑫ オンライン申請	実施方法 オンライン化手続検討	スモールスタート オンライン化手続の検討	オンライン 手続業務の追加			
⑬ SNS/HPの充実	HP改善	SNS充実				
⑭ 電子決裁(公文)	検討	構築	開始			
⑮ 書かない窓口	事例研究	事例研究	事例研究	システム検討	スモールスタート	
⑯ 地図情報	検討	開始				



おおさわ ひろこ
大澤 弘子

子ども基本法について問う

Q 日の出町における子ども等への意見の反映に対する取り組みは。

A (課長) それぞれの施策の目的に応じた措置を検証し、対応する。

日の出町全国大会出場奨励金について問う

Q 一人に対して一年度内に一回という制度の妥当性について。

A (課長) 特定の人や団体に偏ることのないよう、公平性という観点から年度内に一回としている。

役場地下にある食堂について問う

Q 現在の利用状況は。

A (課長) 飲食物の提供は行っており、職員が持参した食事を摂る場所になっている他、打ち合わせスペースとして活用されている。また、イベントの際や災害時の中継基地としても活用される。

Q 施設整備・環境改善の予定は。

A (課長) 廊下の手すりの設置やLED照明の導入を予定している。

Q 地下食堂のさらなる活用について。特に町民のコミュニケーションの場としての可能性は。

A (課長) 採算面から飲食物の提供は難しい。また、昼食時以外は会議室としての活用もなされているため、一般開放は難しい現状にある。



なかにし ちえ
中西 千恵

日の出町の文化財の保全について

Q 町指定有形文化財の大部分は昭和53年9月1日に指定されている。昨年の6月議会では「所有者の方からの申請に基づき審議され登録される」とある。文化財の大方は同年同日に指定されているが。

A (教育長) その当時の施行規則や専門委員の審議を経て、まとめて教育委員会で手続きをした。

日の出町史 文化財編 金石文の誤りについて

Q 誤りについては、正誤表を作成し、在庫に添付するとしているが、その後の状況は。

A (課長) 伊奈石の会の協力確認を経て令和5年3月に正誤表を作成した。

Q 当時、購入された方や無償配布された方に正誤表を送付したか。

A (課長) 当時のリストがないので、広く知らせるため

ホームページに載せた。Q 指定文化財の説明板の総点検を行い、必要な措置を講じるとしたが、その後について。

A (課長) 職員による現地確認、写真撮影等で点検を行っている。案内板をリニューアルする場合、課題を克服しながら慎重に進める。

旅する蝶「アサギマダラ」について

Q アサギマダラが好むフジバカマを植えてある玉の内ふれあい農園は、来年以降どうなるのか。

A (課長) フジバカマは地下茎で増殖する多年草なので状況を見守る。



木造薬師如来坐像



おりた まちこ
折田 眞知子

スポーツパークやすらぎとふれあいの丘について

Q トイレの改修は

A 一定レベルの清潔な環境は保たれているため、改修の予定はない。

Q 遊具改修は。

A 当初予算を確保したので改修する。

Q 植栽が繁茂しているので改善は。

A 今後3年間で、見通しの悪い木の剪定を予定している。

有機フッ素化合物（PFOS）の汚染対策を問う

Q 町内井戸水質検査の実施は。

A 令和3年度東京都環境局の実施した地下水調査では10ng/l検出された。②暫定指針値50ng/lに近いなら井戸調査の検査項目への追加を都に相談する。

Q 疫学調査の実施は。

A 報道によると、都でも健康や環境、作物への影響など、科学的な知見に基づき国に示すよう求めている。



スポーツパーク・やすらぎとふれあいの丘

Q 都に対し汚染源の特定を求め考えるは。

A 暫定指針値を超える地点は、継続調査が実施されている。

地域包括ケアシステムの取り組みと課題は

Q 評価と見通しは。

A 要介護2以下の軽度認定者が多く、介護予防支援等により、抑制に繋がっている。

Q 介護度を抑える課題は。

A 介護の主原因は、衰弱と転倒骨折であり、継続的に予防の取り組みをしている。

Q 在宅一人暮らしの高齢者の実態把握は。

A 町・介護事業者・民生委員も含め、連携を深める必要がある。



あおしか かずお
青鹿 和男

少子化・人口減少社会について

Q 少子化の進行には様々な要因があると考えますが、どのような原因か。

A 合計特殊出生率は平成28年度に1・82であったが令和3年度では1・25まで落ち込んでおり、全国と同じ減少傾向にある。また出生数、婚姻数についても同様に減少傾向にあり、未婚化や晩婚化が要因の一つと考えている。

Q 人口減少社会を受け入れ、満足度の高い人生と人間を尊重する社会の構築を目指していくべきと考えますが。

A 第五次長期総合計画の基本構想では、2040年には総人口が1万5千667人まで減少すると見込まれている。社会機能を維持するため、持続可能な対策を行う必要があるとしている。人口減少を受け入れつつ、6つの施策＋1を着実に進めて行くため、後期基本計

画を策定した。

Q 若者の労働環境を改善し、一般的な社会保障の強化を抜本的に行うことが必要と考えるか。

A 仕事と子育ての両立支援で、今なお、子どもを持つことにより所得が低下するか、子どもを持つことを断念するか、といった「仕事か、子育てか」の二者択一を迫られる状況が見られる。当町においても妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援など国の出産子育て応援交付金を活用して子育て環境の充実を図るなどに努めている。



議 会 日 誌

東京都町村議会議長会議員講演会



5月22日(月)、アジュール竹芝にて開催されました。
講師 法政大学法学部教授 土山希美枝氏
演題 「質問力を高める議会力にいかす～政策資源としての一般質問」

太平洋セメント視察



5月10日(水)、太平洋セメント西多摩工場を視察しました。

9月定例会日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
9/3	4	5 臨時会	6 議会運営委員会	7	8	9
10	11 本会議 (議案審議)	12	13 総務 まちづくり 常任委員会	14 厚生文教 常任委員会	15 議会運営 委員会	16
17	18	19 20 予算決算常任委員会 (決算審査)		21	22 本会議 (一般質問)	23
24	25 本会議 (一般質問)	26	27	28	29 本会議 (議案審議)	30

会議日程は、変更となる場合があります

議会だより編集委員

木住野 智行 縄井 貴代子 濱中 直樹
中西 千恵 折田 眞知子 大澤 弘子
(編集委員長)

編集後記

暑い夏がやってきました。

子どもの頃、夏は楽しい季節。

夏休み、旅行など行事があり待ち遠しい季節でした。

しかし、いつの日かこの暑さに負けない身体づくりのこと、熱中症対策など自分の身体を守る考えに変わっていきました。

いくつになっても、その季節、その日、その時間を楽しめる心を持っていたいと思う今日この頃です。いつ何が起こるかわからない今、日々を大切に過ごしましょう。

編集委員 大澤弘子

発行 日の出町議会 編集 議会だより編集委員会
〒190-0192 西多摩郡日の出町平井2780 TEL 042 (588) 5148 (直通) FAX 042 (597) 4369

再生紙を使用しています。